

神楽坂大學講座

第142回 神楽坂まちづくりすまいづくり塾
神楽坂よもやま話シリーズ 第109話

芸術座創立百一年 松井須磨子とその時代

語り手：木村 敦夫さん（東京芸術大学講師）

開催日：平成26年 6月 6日（金）
19時00分～21時00分

会場：高齢者福祉施設「神楽坂」1階 地域会議室
（新宿区矢来町104）

- 明治44年、新しい女たちの旗手として平塚雷鳥らによって雑誌『青踏』が発刊された。そこには「元始女性は太陽であった」というように高らかに女性の解放が謳われた。松井須磨子が舞台に立ったのはそういう時代であった。
- 今回は、昨秋「芸術座創立百年記念イベント」の企画・実践の中核を担われたチーフ研究家の木村敦夫さんに、時代の寵児だった松井須磨子や島村抱月、芸術座について、またその時代性について語っていただきます。
- 奮ってご参加下さい。

- 日時：平成26年6月6日（金）
夜19時から21時まで
- 会場：高齢者福祉施設「神楽坂」
1階 地域会議室
東京都新宿区矢来町104
最寄り駅：東西線神楽坂駅
（アユミギャラリー斜め前）
- 定員：約20名
- 参加費：1000円
- 主催：NPO法人粋なまちづくり倶楽部
- 共催：神楽坂まちづくりの会
- 参加申込み／お問い合わせ

電話03-3260-6260

粋なまちづくり倶楽部事務局（山下）

ikimachi@syoutengai-web.net

http://ikimachi.net/

